



堀場製作所OB会

会報

通巻41号

発行日 平成29年1月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

◆2016年第21期年次総会より

- ・会社近況報告 堀場 厚社長
- ・年次総会
- ・懇親会

◆定例幹事会

- ・第21期第1回幹事会

◆HOVC活動 ボランティア部会

- ・祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティア
- ・鴨川納涼2016に参加して
- ・鴨川クリーンハイクに参加して

◆HOVC活動 キャリア部会

- ・未来の京都まちづくり推進表彰

◆研修旅行

- ・創業者墓参
- ・東京支部 北海道 函館旅行記

◆OB会行事報告

- ・ブルーベリー摘み体験に参加して
- ・夏の懇親会……………京都

◆クラブ活動報告

- ・東京ゴルフクラブ
- ・山遊会
- ・ボウリングクラブ
- ・ゴルフクラブ
- ・釣りクラブ

◆会員寄稿文

- ・京都の知っているつもり……………海野興一郎
- ・アメリカ旅行記 ……………伊藤 哲

◆OB会だより

- ・堀場OB会ホームページ紹介
- ・新入会員紹介
- ・年間行事計画について
- ・会報、ホームページへの寄稿について
- ・OB会入会手続きについて

◆下半期会社ニュース ピックアップ

◆編集後記



2017年は、天下泰平!?

2017年の干支は、「酉（とり）」。京都地下鉄 鞍馬口駅からすぐのところの曹洞宗の「萬松山 天寧寺」があります。天寧寺は、比叡山の眺望がまるで額に入った絵のように見える山門「額縁門」で有名です。この山門をくぐってすぐのところの石灯籠の「諫鼓鶏（かんこどり）」が鎮座しています。「諫鼓鶏」は、『諫鼓苔深くして鳥驚かず』という漢詩に由来し、天下泰平の象徴とされています。果たして2017年は、どのような年になるのでしょうか。

(中村 十規人 記)

第21期年次総会より

社長スピーチ

堀場 厚 社長

懐かしい顔を拝見でき、非常にうれしく思います。また、総会の開催おめでとうございます。最近、外部での講演機会も増えていますが、本日は、今、感じていること、HORIBAが事業として行っていることを中心にお話をさせていただきます。

本日の新聞発表にありましたように、四半期決算の第三期は昨年と比べて減益の結果となっています。これは、昨年2015年の業績が非常に良かったということも影響していますが、このHORIBA BIWAKO E-HARBARを含めてHORIBAは現在積極的な投資をしており、その償却費や固定費が増加していることが主な要因です。しかしながらこの投資はタイミングとして非常に良いと考えています。

★「自動車セグメントの状況」

自動車部門のトピックスとして、昨年、2015年イギリスのMIRA社を買収しました。MIRA社はイギリス政府が第二次世界大戦後に自動車産業活性化のため、自動車研究機関としてスタートさせたものです。4.5Kmのテストコースをはじめ延100Kmに及ぶテストコースの施設を持っています。HORIBAは10年前にドイツのシエンク社のシャーシダイナモ等の研究部門を買収しましたが、当時の副社長がイギリスに戻り、MIRA社の社長となりました。MIRAの売上の80%がイギリス国内だったため、グローバル展開するために以前のシエンク社の縁もあり、HORIBAグループの傘下に入りたいという申し出がありました。約600名の技術者が従事しており、買収前に訪問した際に技術者と話し、彼らの技術レベルの高さが印象に残りました。また、HORIBAの文化も良く理解されており、傘下に入れることを決心しました。お金に物を言わせて強引に買収すると、その後失敗することが多いと思うが、文化を理解してもらい、彼らから申し出があると良い関係が構築されていくと思います。結婚と同様にどちらが先にプロポーズ(申入れ)をしたかがキーとなります。20年前の、JY、ABXの時も彼らの方から申し出があり、現在のHORIBAグループとなっています。

MIRA社の技術は、自動運転、電池試験、電磁波試験、クラッシュテストなど多岐に及んでおり、今までのHORIBAにない新しい世界での基礎技術を



幅広く手に入れることができました。自動車業界の流れは、自動運転、電気自動車、プラグインハイブリッド車で、エミッション分野に加えて、カバーできるようになっています。日本のお客様からもヨーロッパへ進出する際のテスト評価面や信頼性について好評を得ています。

2016年の堀場雅夫賞のテーマ「自動運転技術」も時機を得ており、まるで計画したようにことが運んで行っています。1年前の世の中はバイオ・医用分野を重点的に推進していたが、今は、また、自動車部門が中心になっています。それだけ、自動車に関する市場のすそ野が広くなり、HORIBAもエミッション分野だけでなく、バッテリー、燃料電池分野などの開発機会や自動車産業向けの半導体需要、10T分野の需要に対応していきます。

★「STECの状況」

今年、2016年4月の熊本地震で阿蘇工場は、大きな被害を受けました。建物の損壊に比べ、製品をキャスター付の台に載せていたことで、揺れの影響を吸収し、幸い製品の被害は少なかった。震災の1週間後に現地に行き、熊本県知事、西原村村長にお見舞いに行きました。工場では従業員が自ら被災しているにもかかわらず、日曜日に工場のかたづけに出社していることに非常に感動しました。世界シェア50%を支える背景は彼らのこうした熱い思いによるものだと思います。3,4期工事は基礎がしっかりできており、被害は小さかった。被害の大きかった1,2期分は取壊し、1.7倍の工場建設投資を決意しました。(次頁に続く)

堀場製作所OB会



半導体市場は中国向けに拡大している中、復旧は3カ月では無理だと考えていましたが、クリーンルームの被害が小さかったことにより実際は3週間で復旧させ、供給を再開することができました。この対応の早さには、ユーザーも驚かれたようです。シリコンサイクルには、景気の谷間があるので、阿蘇工場では、医用機器の生産も行っています。STECで年間売上300億円を達成したことを記念して、軽井沢で慰労の旅を催しましたが、イベントの企画の中で、震災後の光景が上映され、その日曜日のことが思い出され、非常に感激しました。災害の逆境を信念で乗り越えてきた「こころ」が通じ合い、無から有を生み出す、努力・スピリットが若いホリバリアンに息づいていることを感じて、これに応えるべく工場建設投資を決意しましたし、これが経営としてのメッセージだと考えています。

★「投資の話」

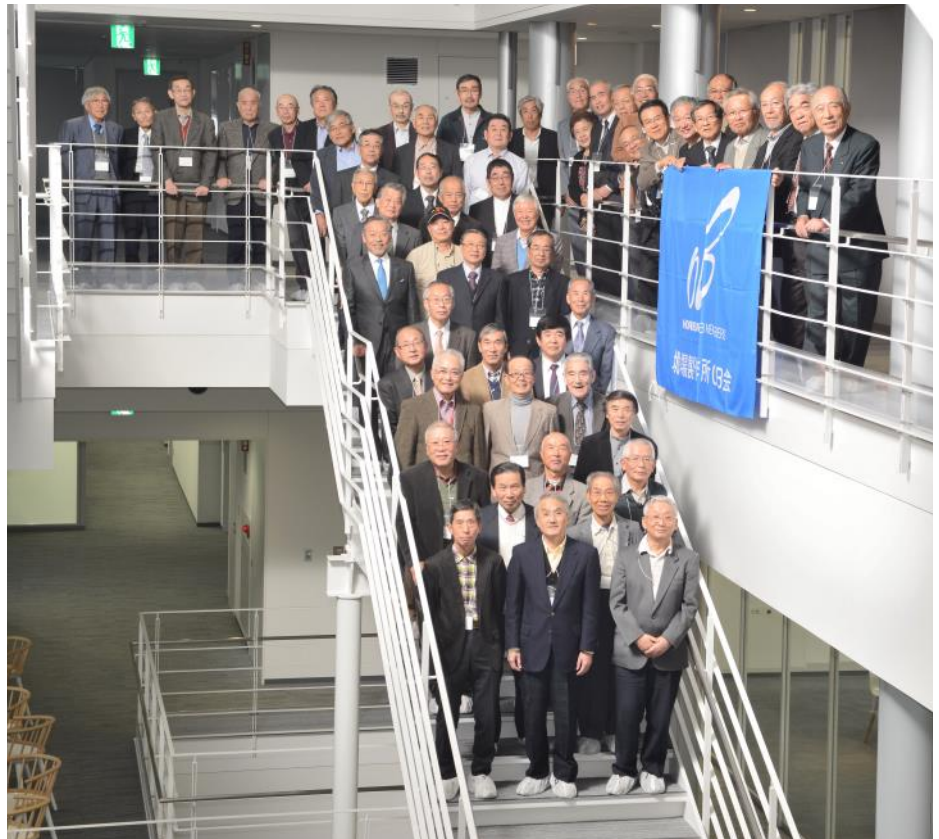
HORIBA BIWAKO E-HARBAR建設は、「技術の伝承」を目的としました。さらに、吉祥院の再整備も進めています。かつて、先輩達の時代は、手作りに近い形で、もの作りがされており、あまりドキュメントを残すこともなく製品が製作されてきました。時代が変わって、現在は様々な意味で直接助言しにくいような空気があります。ものづくりにこだわったHORIBA BIWAKO E-HARBARは、建物も人も「技術の伝承」ができるスピリットがある。おかげさまで、違う業種の会社からも生産の在り方、建物の作り・デザインなど多くの工場見学の依頼が続いています。

現在、従業員数はグローバルで約7,000人となり、うち、海外が62%、日本国内が38%となりました。Ph.D(博士号)を持っている技術者は、海外100人、日本で50人おり、日本に無い技術による製品開発は海外で進めています。

米国では、テキサス州・アルビンに石油関連の分析・計測をする会社、ネバダ州・リノに、マスフローコントローラーの最新開発を担う会社、ニュージャージー州にはJV社の拠点もあり、いずれも積極的に投資をしています。フランスでは、エコールポリテック研究開発施設を整備し韓国では、SKLの新工場建設が進んでいますし、日本では、吉祥院の再整備も進めています。各地域で働くホリバリアンの士気をあげ、中長期的なニーズに応えるべく製品開発の場や生産拠点を継続して展開しています。

イギリスのMIRA社の投資時は低金利による借入れにより資金調達が可能でしたが今年から来年にかけて投資がうまくいくかどうかの正念場と考えている。2020年売上2,500億円、営業利益300億円、純利益200億円の中長期計画も可能な数字として見え、現実化してきました。HORIBAの事業を5分野に広げて、リスク分散、地域重視してきた施策が功を奏していると考えています。

OB会のメンバーの皆さんには、今後も成長していく会社を見守っていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。(抄録)



第21期年次総会・懇親会から

第21期 年次総会概要

第21期OB会年次総会（2016年11月8日）

平成28年11月8日（火）午後1時より堀場製作所OB会第21期総会がびわこE-HARBOR行われました。今年度はOB会創立満20周年の記念すべき年度であり、今年5月23日に竣工を迎え、技術の遷宮として動き出した「びわこE-HARBOR」に場所を移して開催されました。

はじめに、遠くカナダのトロントで7月に病気の為亡くなられた、一木 武俊さんに黙祷を捧げました。



◆第1部は、OB会の第20期の活動報告、並びに会計決算報告が行われ、会員の承認を戴き、続いて、第21期の活動計画、予算計画を説明し、会員の承認を戴きました。

第21期の活動方針は第20期同様に「キャリアを活かして社会貢献を強化」です。◇OB会の規定類の中に、慶弔規定があります。その文面によると、古稀の祝の他に喜寿、米寿、卒寿、白寿等もお祝い金を出すと記されています。実際に今まで古稀以外にお祝いを出した先例も無く、OB会の長寿高齢化を考えると、大きな費用負担になることが予想されます。そのため、実質の運用で古稀だけになっている現状に合わせた規定に改定することで承認されました。

■新入会員の紹介では、当日出席された早田善孝さんをはじめ、鶴崎一誠さん、岡田義明さん、東京支部に 板垣久美子さん、川野（旧姓：石川）佳子さん、程野（旧姓：横江）知子さんの6名が20期中に加入されました。また、10月以降、第21期が始まったばかりですが、総会に出席された野田容朗さんの他、分部（旧姓：浮村）

妙子さん、梶並純一郎さんの3名が参加されました。

■また、第20期中に古稀を迎えられたのは、青野国子さん、永田真寿夫さん、船越 健さん、山田 毅さん、須崎琢而さん、青海 隆さんの6人が、古稀のお祝を受けられました。

◆第21期の会員数は10月1日現在、191名となりました。

今期の幹事体制の変更は、中村正博氏が業務多忙のため、退任されることになりました。そのため、幹事体制は以下となります。

代表幹事 酒井 俊英

副代表幹事 船越 健

幹事 伊藤 哲（会計担当）、谷口 義晴

（東京支部）、小川 柁幸、中村 十規人、

三橋 泰夫、森山 晶成

会計監査 湯浅 一郎、中井 眞啓（堀場製作所）



第2部は、年次総会を終えて、びわこE-HARBORの見学となり、4つのグループに分かれて、約1時間の見学が行われました。琵琶湖に停泊する大型船のイメージでデザインされて、多くの思いと工夫に満ちた、従来の工場の概念を超えた、従業員のやる気とパフォーマンスを引き出す未来のプラットホームと言えます。

第3部は、堀場会長兼社長の講話「会社近況報告」が行われました。（前掲）

続いて、第4部は懇親会となりました。同じ9階の食堂の一部で堀場会長兼社長以下、堀場製作所の幹部の方々にも参加頂き、中村十規人さんの司会で始まり、内山正克氏の乾杯の音頭と共に、交流の輪が広がりました。



写真左 総会前の昼食
左下 9階から眺める琵琶湖
右下 総会前の受付



写真上左 総会
上右 懇親会で乾杯
右 懇親会



定例幹事会

第21期第1回幹事会

開催日時：2016年11月18日（金）14:00-15:30

場所：堀場製作所OB会室

出席者：小川、中村（十）、船越、三橋、
森山、酒井

◆総会の評価

全般的には好評だったと言える。

懇親会の食事は見直しが必要。

◆ホさん・お墓参り参加申し込み状況

36名となった。

バスは、大型バスの利用に決定する。

会費は3千円とし、大型バス代の72千円はOB会負担とする。

幹事は、8時30分アバンティ前集合とする。一般参加者は8時45分。

◆20周年記念研修旅行について

九州地方の地震は、今のところ無事で、阿蘇山の噴火も収まっていると判断。総額5万円程度で、再度、プランを検討し直す。復興復興クーポンは使えないか？

時期は29年2月24日（金）～26日（日）を予定。

◆慶弔規定改訂について

総会で、改訂について了承を受けたが、削除すると数行の物になるので、会則の一部に組入れて、古希、本人の死亡時の2種類に限定する文章にする事を合意した。

◆HPのための講習会等、運用について後日の議題とする。

◆メールに関する情報確認と修正について報告確認は、ほぼ終了した。

◆生き方探求館の工作授業

CCOと連携して5月から始められる様に話合いを行った事が報告された。OB会で、次のテーマを企画・開発してはどうか。その為に、OB会のお金を使う事は認められる。検討する事とした。

◆年間スケジュールは、原案通り承認された。

◆その他

堀場製作所の現役の人との交流の場を持ってはどうかと前回の総会懇親会時に提案があり、申入れしたい。以上

HOVC活動 ボランティア部会

祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティア①

京都の夏を告げる祇園祭（前祭り）のごみゼロ大作戦7月15日（金）に参加しました。

この祇園祭ごみゼロ大作戦は、祇園祭の期間中に沢山のお客さんで賑わう行事で、優美な祭りの反面、大量のゴミがでます。それを削減する事を目指した活動として、3年前から始められてきました。ゴミの散乱防止とリユース食器を活用してのゴミ対策の結果、大規模なお祭りでのゴミ減量に成功されてきました。私達、堀場OB会は、10名で西洞院・蛸薬師付近のゴミステーションを担当しました。ボランティアは、ブルーのTシャツを着てにてゴミ箱の後ろに立ちゴミの分別収集への協力要請を大きな声で行います。このボランティアの活動の本質は、ゴミを捨てられる人々へのごみ分別収集への意識高揚です。16時より20時が活動時間となりましたが、ついゴミステーションに来られた方から、ゴミを受け取って、私達が分別してゴミ箱に入れるなどして、リーダーより注意を受けてしまいました。最初は”燃えるゴミ”の箱が18時ごろまでの2時間程度でいっぱいとなるゴミの量でしたが、陽が沈んで、暗くなるとともに、人・人・人となり、ゴミの量も増

えてきて、私の担当終了時間の20時ごろにはゴミ箱がいっぱいになるのに1時間も掛りません。ゴミの分別収集に協力いただいて、「ありがとうございます」とお礼を言いますと、お客さんから、お礼が返ってきますと大変に嬉しくなりました。徐々に人が増えて、ゴミも順調に捨てていただくようになっていきました。外国から来られたと思われる方も浴衣姿でこられ、生ゴミを英語などで、時間の過ぎるのを忘れてしまうほどした。18時になるとゴミステーションの前は、歩行者専用道路となり、ゴミも捨てていかれるようになると、周りから、美味しい食べ物のおいにおに、気が付くようになりました。また、焼肉や、鰻のてんぷらなどゴミステーション前のお店で販売されているのを見ると生ビールを飲みたい心境になりました。浴衣姿の人も増えてきて一層、祇園祭りらしさを感じました。帰宅時に、四条通りのゴミステーション前を通ったのですが、私達の担当したところとは桁違いの人々の中で、活動されました。祇園祭のおはやしの中、心地よい疲れを感じながら帰宅しました。

（笠川 重美 記）

HOVC活動 ボランティア部会

祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティア②

平成28年祇園祭の前祭（7月15日）のごみゼロ大作戦2016に参加した。16時には西洞院蛸薬師広場（エコステーション2）に全員がボランティアTシャツに着替えて集合した。堀場OB会からステーション毎に2班に分かれた。エコステーション2は、佐々木（一）、石黒（英）、笠川、宇野（久、リーダ）、池田の各氏5名が、エコステーション1（西洞院六角）は酒井（リーダ）、萩原、中村（十）、森山、秋山の5名が担当した。



主催者側事務局から当日の実行プログラム（①リユース食器の返却、②資源ごみの分別、③散乱したごみの清掃）説明と諸注意を受けた後、エコステーション1に向かい酒井リーダの指示で設営場所決定、ごみ回収ボックスの組み立て、箸やくし用ごみ回収袋を併設した。

18時ごろには、エコステーション1を歩いていく見物客も増えましたが、ほとんどが四条通り方面に向かう家族連れで、皆それぞれの浴衣姿で軽い足取りで前を過ぎていく感じ。このように、京都の祇園祭は多くの家族連れの参加がお祭りを盛り上げている様子がまさに京都の夏の風物誌であることを実感した。曇り空の夕立の心配も消えた夕方には、来訪者の多くは道順や方角を訪ねてくる人達が意外と多かった。

日がとつぷりと暮れた19時過ぎには帰路に着く家族連れが目立つようになった。我々のコーナでは、資源ごみ回収、リユース容器の返却はさほど多くはなかった。特に幼児から年少の子供たちは、親に言われることもなく自らごみ回収ボック



スに近づいて来て、親の顔を見ながら回収ボックスに投入する姿は、幼少期からの環境教育実践のお手本でもある。我々も、ありがとう！ 有難うございます！ の一声でお互いのコミュニケーションが図られたのではないかと思います。

20時ころには、後半組の森山さんと引継ぎを行い、六角通り、烏丸通りから御池経由で帰路に着いた。

烏丸通りに入ると人の波というより洪水に近い人出で、我々の資源ごみ回収支援作業は当初目標のごみゼロ作戦にどの程度貢献できたか期待と不安を感じていた。しかし、今回のボランティア活動を通じてリユース食器の返却・回収という実行プログラムの実践により、来場者とのふれ合いや環境エコマナーの実体験を見るにつれ“ごみゼロ作戦”が功を奏する日も近いと思った。

（秋山 重之 記）



HOVC活動 ボランティア部会

議事録と年間予定

- 開催日：2016年12月16日（金）
 時間：午後2時～3時30分
 場所：堀場製作所1号館3F 0B会室
 参加者：酒井、三橋、梶並、秋山、池田、森山
- 第41回「鴨川茶店」について
 開催日 4月8日(土) 9日(日) 7:45～15:30
 開催場所 「なからぎの道」府立植物園西側
 - 4月8日(土) 3名(三橋)(船越)(笠川)
 - 4月9日(日) 3名(森山)(酒井)(中村正博)
 - 平成29年度「鴨川を美しくする会」活動
 - 鴨川定例クリーンハイク 4月29日(土)
 (五条大橋⇒丸太町橋) 3名(森山)(笠川)()
 - 鴨川定例クリーンハイク 6月4日(日)
 (五条大橋⇒丸太町橋) 3名(酒井)(中村正)()
 - 鴨川定例クリーンハイク 9月3日(日)
 (丸太町橋⇒北大路橋) 3名(池田)(中村正)()
 - 鴨川定例クリーンハイク 11月5日(日)
 (北大路橋⇒上賀茂橋) 3名(秋山)(三橋)(中村)
 - 祇園祭りゴミゼロ作戦 10名
 2017年7月15日(土)
 (酒井)(森山)(秋山)(池田)(笠川)
 - 「鴨川納涼2017」主催/鴨川納涼実行委員会
 8月5日 2名(森山)()
 6日 2名(酒井)(中村正)



- 生き方探求「モノづくり工房学習」活動状況
 「世界に一つだけの温度計」
 (1)生き方探求館の工房学習の実績
 2016/9/23(金) 午前 葛野小 4年 82名

- 2016/10/3(月) 午前 鏡山小 4年 77名
 2016/11/28(月) 午後 桂小 4年 57名
 2016/12/2(月) 午前 桃山小 4年 84名
 (2)生き方探求館の工房学習の予定
 2017/2/7(火) 午前 羽東師小 4年 65名
 2017/2/7(火) 午後 羽東師小 4年 64名
 2017/2/20(月) 午前 御所南小 4年 76名
 2017/2/20(月) 午後 御所南小 4年 75名
 2017/2/21(火) 午前 御所南小 4年 75名
 0B会としてキットを作る、新しいテーマの試作品6か月、1年の目標で皆さんより応募する。
 ※「世界に一つだけの温度計」の準備作業を0B会として参加予定しています。(森山)



- 今後の予定
 - 桂川クリーン大作戦2017年2月5日(日)
 雨天の場合は2月12日(日)
 集合場所：松尾橋右岸橋
 集合時間：8時30分 9名
 梶並、宮本、秋山、笠川、酒井、中村十、中村正博、森山、宇野
 - 京都マラソン2017年2月19日(日) 10名
 集合場所：西京極・梅津ブロック
 池田、伊藤哲、竹内、中村十規人、萩原、宇野、酒井、中村正博、森山、石黒



HOVC活動 ボランティア部会

鴨川納涼ボランティアの参加報告

今は京の七夕の一環に入っている、第47回鴨川納涼に参加しました。初日の8月6日に参加したのは、中村正博と私・村瀬潤です。

集合時間の16時少し前に会場に着き、中央本部で誘導灯などの七つ道具を受け取って開始です。担当は、南エリアでの安全・会場整理です。昼間は真夏の太陽の強い陽射しがありましたが、16時過ぎから16時50分頃まで夕立が降りました。開場前に雨が上がったので、本部横のメインステージで予定していた17時のオープニングも無事実施でき、その後のプログラムも予定通り進行しました。雨が上がって暫くは蒸し暑さも有りましたが、日が沈む19時頃からは気温も下がり、過ごし易くなりました。会場構成は、2年前から北側が県人会の屋台、南側が京都の伝統産業や啓発などの展示ブースですが、南側にも京都府内市町村の展示物産販売ブースが出来て、南側も人だかりが出来ようになりました。オープニングには山田啓二知事も来られていた様で、18時に巡回したときには県人会のブース前で記念写真に次から次に呼ばれて入られていました。

今年の感想として、海外からの入場者が例年以上に多くおられました。半数程度に達していた様に思います。同じ南本部に詰めていた京都府観光振興課の人と話しましたが、海外からの観光客の



絶対数の増加と、ホテルに置いてもらったパンフレットの効果と、先斗町などのお店には入り難さがあるが、台湾などの夜市の様な利用し易い雰囲気が良いのでしょうか。また、県人会の屋台では、年に1度のお祭り騒ぎの雰囲気もあり、楽しい感じが在ります。

ゆるキャラのくまモンも、山鹿灯籠のお嬢さんも記念写真に引っ張りだこでした。

人出は例年以上に多く、巡回で回ると人の流れについて歩いて30分掛かりました。

21時を過ぎてようやく人出が減り始めましたが、外人さんの比率は逆に上がった気がします。22時になってテントの灯りが消え、初日は無事大過なく静かに終了しました。(村瀬 潤 記)

鴨川クリーンハイクに参加して



2016年11月6日(日)「鴨川を美しくする会」のボランティア活動に参加しました。朝から雨がぱらぱらする天気で、11月相応の少し肌寒い気候でした。

この季節は、紅葉前線が南下する時期ですが、今年はまだ通過しておらず、紅葉がちらほらといった状況の季節でした。今回の参加者は森山晶成、中村正博、三橋泰夫の3名でした。北大路橋から北山橋まで清掃活動をし、上賀茂橋まで行こうと思っていたところ、B班は「半木(なからぎ)の道です」、と声を掛けられ、上賀茂橋へ行く途中で戻り、半木の道の清掃ハイキングを行いました。

毎年清掃活動があり、またマナーも向上していると思われ、ほとんどゴミがない状態でした。それでも小さなゴミを集めて回収しました。鴨川を美しくする会の50年にわたる地道な活動の成果もあり、鴨川が本当に美しく保たれているのを実感した次第です。

(三橋 泰夫 記)

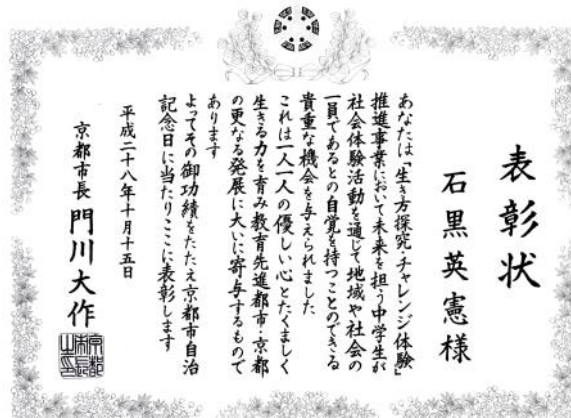
HOVC活動 キャリア部会

未来の京都まちづくり推進表彰状を受賞

平成28年10月15日(土)に、新装の京都ロームシアターで行われました平成28年度「京都市自治記念式典」で、京都市長より、「未来の京都まちづくり推進表彰」を受賞しました。

これは、故堀場最高顧問が築きあげられました京都シニアベンチャークラブ連合会のボランティア事業の一つに、「京都モノづくりの殿堂・工房学習」事業があります。その中で「京(みやこ)モノレンジャー」として子どもの学習活動を支援し、モノづくり体験を通じて、探究教育の推進に協力させていただいた結果です。

セカンドライフをより豊かに過ごすために設けて戴いたボランティア活動を、楽しんでいるだけで幸せを感じさせて戴いているのに、表彰までされるとは考えておりませんでした。



このような場を設けて戴いた堀場最高顧問に、心より御礼を申し上げたいと願っておりました。おかげさまで、12月1日に最高顧問の墓前に報告することができました。そしてまた、この事業を推進されています堀場OB会ベンチャー&キャリア一部会の方や京都シニアベンチャークラブ連合会の方々に心より御礼を申し上げます。

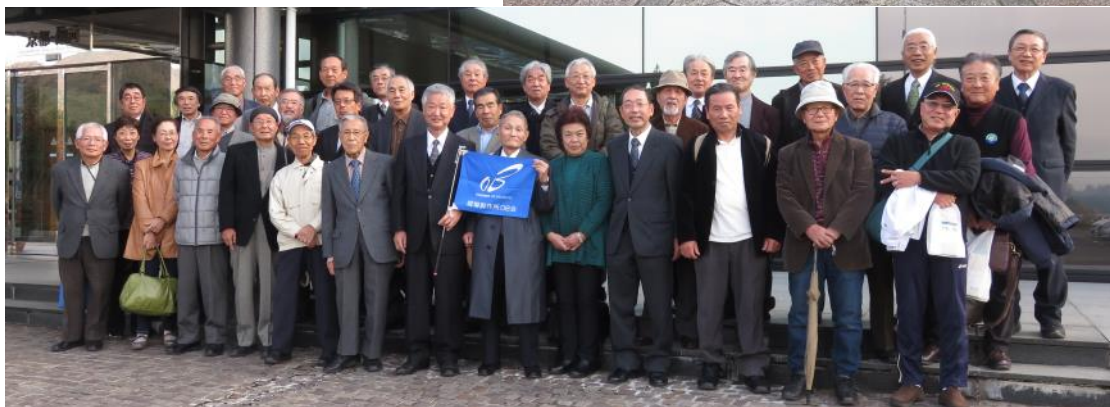
この式典では、堀場最高顧問に市民栄誉賞が贈呈されました。このようなおめでたい席に参列できたことも非常に幸運でした。これからも、ボランティア活動を体力の続く限り頑張りたいと考えております。

この「京(みやこ)モノレンジャー」として、未来ある子供たちに堀場の「世界に一つの温度計」を作る作業の支援活動に参加をお待ちしています。(石黒 英憲 記)

研修旅行①

OB会 創業者墓参 2016.12.1

お陰様で、船越さんをはじめ、皆さんの協力のもと、無事故で、ケガも無く盛会のうちに終わることが出来ました。ありがとうございます。遠く福岡から、高田さん夫妻をはじめ、角野さん、西田さん夫妻等の御参加を頂き、嬉しく思います。これらの方々が、今後、友人や、知人を連れて、ホさんのお墓や、弊社にお参りしていただければホさんもお喜びになると思います。(酒井 俊英 記)



研修旅行②

東京支部 北海道 函館旅行記

東京支部では、OB会設立20周年記念事業として、10月13日から3日間、秋風たなびく北海道函館地区を訪れ会員の友好を深め、美味を食し、さらに地球温暖化を実感する旅を行いましたので報告します。

1. 旅行日：平成28年10月13日～15日
2. 旅行先：北海道函館
3. 参加者：草鹿、谷口、玉置、土屋、辻川、草野（特別参加）
4. 企画運営計画について



1) 旅行は会員の親睦、美味堪能、環境事情探索、風光明媚をねがい企画することになり、平成28年3月の支部第2回定例会以後、数度にわたる打ち合わせ検討し旅行候補地として、①軽井沢、②福島・宮城、③新潟、④金沢、⑤北海道函館があげられた中から、北海道江別に在住するOBの草野氏にも特別参加をお願いし、新幹線開通記念の面から北海道函館地区に2泊3日で10月に行くことにし、支部会員に早急に案内参加を募ることで決定した。

2) 実施に当たり、いかに楽しく、安価な旅とするか、実行責任者を谷口、企画担当を辻川、会計担当を玉置と選任し推進した。

3) 費用については、新幹線利用で通常は80,000円が見込まれる（ホテル2泊、食事、見学交通費等含む）が5月に航空便、ホテルの早割を探して、約50,000円の予算で企画した。

4) 3日間の行動の交通の便は草野氏の絶大な協力で車を提供いただき、及びレンタカーと2台で実施することになった。

5. 実施内容

1) 10月13日（木）

①羽田空港11：00集合、工程確認、留意事項を周知徹底、昼食後、全日空555便に搭乗14：25函館到着、草野氏と合流。

②函館グランドホテルにチェックイン後、老骨にむち打ち、徒歩にて急坂を函館山へ出かけ右手に太平洋、左手に日本海、周辺に立待岬、駒ヶ岳を眺め絶景に感涙、但し多くの観光客が殺到しここは中国かと思える混雑も体験、喫茶室でしばし夜景を見学後夕食タイム、インターネットのグルメランキングで上位の海鮮料理店で本真物を堪能後、ホテルに戻り幹事部屋にて二次会、痛飲後爆睡。

2) 10月14日（金）

①朝食後、参加者の体調を考慮し「元町・港町」の坂道、石畳通、及び、「谷地頭温泉地区」等二手に分かれて、観光に、散策に、温泉堪能に興じた。

②早速、八幡坂、大三坂、あさり坂、魚見坂、元町公園、和洋折衷住宅、外人墓地、寺院教会地区の石畳、景色に感激、途中有名なパン屋「トンボロー」で美味しいイチジクパンとコーヒーに舌包みを打ち、赤レンガ倉庫街を訪問、昼食は函館一の老舗の洋風ロシア料理店「五島軒」にて超美味なるカレーを食し、満足の後、ロシア正教団から函館北斗駅周辺の海岸をドライブ散策。

③一方、疲労回復組は谷地頭温泉に向かい湯あみの後、函館駅周辺ベイエリア外の散策をたのしんだ。

④17：00からは、全員で、人気炉端焼店にて名物料理と酒に堪能した後、ホテルに帰着し例により二次懇親会。

(次頁に続く)





3) 10月15日(土) ①朝食チェックアウト後、函館朝市に向かい広大な市場見学と土産物購入に汗をながした、やはり外人客が多く、また温暖化の影響で名産、魚類の入荷状況が品薄のため、価格も高めに設定されている様で、購入時にかに良いものを値引きしてもらおうか微妙な駆け引きも楽しみであった。

②昼食後、函館五稜郭に向かいタワーに上がり上空から、景色を楽しんだ後北海道有名菓子店

「千秋庵総本家」にて土産を購入し、最後の見学場所ハリスト修道院を訪問し、函館空港に到着、草野氏と再会を約し別れ、空港にて夕食後全日空558便にて20:55羽田に到着、参加者は大満足、大変有意義な旅行であったことを感謝し現地解散の後帰宅した。

6. 20周年記念旅行余談

今回の旅行で多くのことを経験し学んだ。

1) 地球温暖化を肌で感じ認識した。

①多くの商店、また識者からの情報で海水温度が異常に高くなり、道産名物のイカ、ホッケ、サンマ等の水揚げが減少している反面、温暖を好むアジ等北海道で水揚げされるようになっている。

②コメの品質向上の現実として、過去北海道は寒冷地のため道産のコメは不評であったが、昨今のコメは内地米に比して、一等米が多くとれること、このように肌で地球温暖化の一面も体験。

2) 防災面では、昨今、各地で地震による、家屋倒壊が伝えられるが、北海道では、雪害対策のため、基礎工事が内地より慎重に施工されている様で、家屋倒壊に強いことがうかがえた。

(辻川 毅 記)

行事報告

ブルーベリー摘み体験に参加して

2016年8月19日、ブルーベリー摘み体験に参加しました。ブルーベリー農場は、ブルーベリーフィールズ紀伊国屋の協力のもと掘場と共同運営している土地です。当日、電組は京都駅から電車に乗り安曇川で下車、駅前に予約していた乗り合いタクシーにて、目的地のソラノネ食堂へ行きました。自家用車の方と合流し、受付を済ませ、ブルーベリー摘みについての説明を受けた後、みんなでブルーベリー摘みを行うこととなりました。はじめは取り方や、木の選び方、収穫量などわからないことだらけでしたが、そのうちみんな慣れてきて要領を得るようになりました。摘み取ったブルーベリーは、1人1kgを提出、500gの持ち帰り分と合わせ1.5kgの摘み取りを実施しました。炎天下で1時間程度、黙々と摘み取りを行いました。収穫したブルーベリーを計量して、すごく多く取った人、ぎ

りぎりり量を確保した人いろいろありました。ソラノネ食堂で昼食をとりました。昼食は、かまど炊きご飯セットまたはカレーセットで、いずれも野菜中心の食事で、デザートもついていました。ブルーベリー収穫の喜びと、テラスでの食事を楽しんだ一日でした。

参加者：

石黒 英憲さん、森山 晶成さん、下川さんファミリー(2人)、西田さんファミリー(2人)、中村(勝)さん(2人)ファミリー、周田さんファミリー(6人)、三橋 泰夫の計15名です。

(三橋 泰夫 記)



夏の懇親会開催報告

20期OB会夏の懇親会が「がんこ 高瀬川二条苑」で9月17日午後6時より開催されました。晩夏の暑さを少し和らいでくれる高瀬川沿いを、歩いて「がんこ高瀬川二条苑」に到着しました。「がんこ二条苑」は鴨川の水を引き込んで造られた庭園があり、雰囲気良くて「おもてなし」を感じる食事処で、OB会懇親会の恒例の開催場所となっています。

堀場OB会は今期20年の節目にあたる夏の懇親会に42名（ドタキャンの1名を除く）の方の参加での開催となりました。開催予定時刻前から、思い出や、近況の話で盛り上がる中、酒井代表幹事の挨拶により始まりました。最初に堀場製作所の近況報告が足立開発本部長より有り4月の熊本の地震により被災した熊本工場のホリバリアンの努力による短期間に復旧した模様、びわこ工場（E-HARBOR）の稼働など沢山の報告をいただきました。そして好例の吉井さんの乾杯にて宴会となりました。

参加された方の中から、思い出話を披露いただきましたが、夏の暑さも吹き飛ばす雰囲気冷房の調整そして、急きょ拡声器を準備していただくなどして、お話を聞かしていただきました。お話しいただいた方の懐かしい思い出や近況など、お

話の活気と盛り上がりは、活躍されていた時のホリバリアンそのものでOB会の懇親会とは思えない若さを感じました。なによりも現在も参加された皆さんが、今も元気に活躍されているのを感じながら美味しい食事とお酒をいただきました。皆さんとの楽しい時間は大変に早く過ぎ、船越幹事より締めをいただきました。

会員皆様とお話しさせていただくとタイムマシンであの時代に戻り、いろいろな思い出が甦ります。今後、堀場製作所OB会総会があり、各種倶楽部活動、行事が企画されていますので、是非、みなさんと楽しい時間を過ごしたいと思いますので参加よろしくお願い致します。ありがとうございました。（笠川 重美 記）



クラブ活動報告

東京ゴルフクラブコンペ開催報告

2016年9月16日（金）栃木県鹿沼市の鷹ゴルフ倶楽部にて20期最後の第3回コンペを開催しました。最近の関東地区の天気は、台風も多く曇りのち雨の日が多く、大気不安定の天気予報の中、ゴルフを開催することの決定が今年は大変な時期であり、雨の隙間を見てのコンペとなりました。1人法事と重なったため3人でのプレーとなりました。鷹ゴルフ場はアップダウンが有るためコース内乗り入れカート予約しましたが、人数の変更によりカート道路専用カートになりました。またラフはきつく、重く、グリーンは早く、皆さん大変お疲れになったようです。当日は3連休前でコンペも多く入っていて、途中待たされることもありましたが時間通り終了しました。優勝は20期初めての谷

口氏でした。グロス95でHC19.2 , NET75.8のスコアでした。

終了後ロビーにて表彰式と賞品の受与を行いました。参加者 草鹿悌二、村嶋和宏、谷口義晴

（谷口義晴 記）



クラブ活動報告

山遊会報告



<第46回>例会 平成28年11月20日 曇り
行き先：須磨アルプス(横尾山 312.1m)
参加者：下川和子、高橋義治、下川博司、倉原政治
あいにくの雨の予報で1日順延しての山行となった。阪急河原町駅ホームに集合し、午前8時17分発快速急行梅田行きに乗り、十三・新開地・板宿と乗り換え、地下鉄西神線妙法寺駅に10時着。横尾の住宅地の真ん中を抜け登山口へ向かう。10時25分すでに下山してくる人と挨拶を交わしながら急坂をゆっくり登る。20分で稜線(東山)に出る。ここから横尾山の登りまで須磨アルプスとなる。

<第46回>例会 平成28年12月10日 晴れ
行き先：十三石山(495.5m)
参加者：下川和子、高橋義治、下川博司、倉原政治
8時40分雲ヶ畑バスに乗り北大路駅前を出発。加茂川上流を指して走り9時5分市ノ瀬バス停で下車。晴れているが北風に乗って北山特有のしぐれとなって降り注ぐ。身支度を整え出発。9時20分市ノ瀬橋を渡り早刈谷林道に行く。林道を詰める前に左に折れ満樹峠に向かうのだが、取り付け口の標識が見つからない。GPSを頼りに杉の植林の間を数十メートル抜けた地点で山道を見つけ、10時10分満樹峠に出た。落ち葉を踏みしめ北へ伸びる痩せ尾根に行く。冷たい風が気持ちよい。道はどこまでも続くが頂上が見つからない。GPSで確認すると通り越しているようで引き返す。赤松の大木が道を塞いでいるところに頂上への標識が取り付けがあった。倒木をまたぐ足元に気を取られ、標識を見落としていた。10時40分頂上到着。京都市街北部と比叡山を僅かに望む。記念撮影の後満樹峠まで引き返し、尾根筋を氷室へ向かう。11時40分京都一周トレイルコース(標識63)にでて、氷室跡近くの畔で昼食休憩とする。風もなく日差しが温

花崗岩が風化した露岩地帯が広がる。両側が切れ落ちた細い道で、逆コースの人とすれ違うのに譲り合いながら注意深く進む。中央部の馬の背で記念撮影して11時25分横尾山に到着。ここで集合写真を撮り、小休止後11時45分見晴らしの良い梅尾山で昼食休憩とする。山頂付近が込み合ってきて12時15分出発。標高差140mの直線の階段を高倉台団地まで下る。カラー舗装された団地内の道をつ切り、今度は梅尾山から正面に見えていた高倉山への階段を一気に登り返す。12時55分山頂に建つおらが茶屋の展望台に立つ。時折薄日のさす天候だが、指呼の間にある明石海峡大橋がかすんでいる。鉄拐山を通り13時30分旗振山に着いた。旗振山の由来は、堂島米会所の相場を岡山に伝える中継点であった由。また、ここは摂津の国と播磨の国の国境でもある。途中ロープウェイの鉢伏山上駅を通り、階段の遊歩道を下り14時5分山陽電鉄須磨浦公園駅に到着した。須磨浦公園駅は初冬に行われる六甲全山縦走大会56kmの出発点、今回は最初の極一部を逆コースで歩いたことになる。14時25分発神戸三ノ宮行きに乗り、予定より早い帰京となった。(下川 博司 記)

かい。12時40分休憩を終えたところで、氷室跡見学に立ち寄った名古屋からのパーティと出会う。アスファルトの登り坂をゆっくり歩き、京都一周トレイルコースの京見峠から沢ノ池方面への登り口を確認して、13時15分京見峠茶屋の前から左の道に入る。尾根に沿って歩き、以前第4回例会山行で通った標識66から船山への道に出た。船山の手前の秋葉神社への分岐点で、今回は秋葉神社へ向かう。急な谷筋は荒れていて本来の道が分からない。慎重に足場を選び14時10分秋葉神社に着いた。林道になり、京都ゴルフクラブ、尺八池の横を通過して市街地に帰ってきた。運よくタクシーが通りかかり北大路駅まで乗合せ解散した。15時であった。(下川 博司 記)



ボウリングクラブ

堀場ボウリングクラブ8月例会成績

リオオリンピックでは日本は健闘しました。堀場製作所の林勇気選手も団体8位入賞と頑張りました。



8月例会では中村正博選手が念願の初優勝を遂げました。安定した成績を上げながら第3Gで崩れることもあったのですが、今回は150点ペースを維持してネットでは大差の1位でした。

(毛利 隆文 記)

ゴルフクラブ

平成28年11月11日(金)第5回堀場OB会ゴルフコンペを、滋賀カントリークラブで開催しました。当日は小春日和の暖かい晴れの下で、ゴルフ好きのメンバー9名が集まりました。紅葉の綺麗な景色をバックにして撮った全員で笑顔の記念写真を、懇親会の席でクラブスタッフから参加者全員に配られました。参加者の平均年齢は、とうに70歳を超えており、ティショットをフロントの白か、その前のゴールドにするか、喧々諤々、スタート前から勝負にかけるそのこだわりは、まだまだ現役時代を思わせるものでした。一日中天気恵まれ、体調を崩す人もなく楽しいゴルフを満喫しました。プレー終了後、成績発表、表彰式、懇親会へあつという間に時間が過ぎて行きました。

今回優勝されたのは山田毅さんでした。
(NET 72.8) おめでとうございます。

準優勝：峰野幸弘 3位：内山正克

5位：土肥守 BB：佐々木一訓

賞に入らなかった人にも参加賞を、又、ゴルフ場よりゴルフボール(3ヶ)を全員に持ち帰って頂きました。

参加者 三好則夫、佐々木一訓、宇野久二男
内山正克、峰野幸弘、土肥守、高橋義治、
倉原政治、山田毅 (宇野 久二男 記)



釣りクラブ

釣りクラブ釣行報告

平成28年8月20日(土曜日)鯨・イカ釣りをメインに舞鶴冠島に行ってきました。参加者は、山岸、調子、下川、中村、堀場から内原さんが丸山さんの代わりとして参加してもらいました。船は、西舞鶴で何回か使っています「いおり」です。釣り具やで、餌(オキアミ)を購入、夕方の4時に出船しました。今日は海上少し波高でした。オオグリ

と呼ばれる魚礁へ。チダイ、レンコがよくヒットしました。しばらくして、イカのポイントへ移動。多い人で、20パイ近くゲット、あまり釣れなかった人は、25cmと少し、小ぶりのアジを30匹近く釣って満足のいく釣果でした。遅くなるほど波は静かになり楽しい釣行になりました。午前1時頃に納竿、4時頃には、自宅に戻りました。21期は、11月頃の予定です。また皆さんに連絡しますので是非参加してみてください。ハイポーズを取るの忘れませんでした。
(中村 正博 記)

平成28年夏から御所が通年公開となったが、その前、春の一般公開に行ってみた。御所西の「宜秋門」から入場し、東の「日華門」から紫宸殿の南庭に入った。何とそこには、「左近の桜」「右近の橘」があるではないか、ひな飾りそのもの。ひな飾りを真似した？いや逆でしょう。そこで、「ひな人形」について調べてみた。「ひな人形」の起源は、中国の漢(紀元前206-220年)の時代、徐肇(じょうちょう)と言う男性に、三人の女兒をもうけたが、三人とも三日以内に亡くなった。その悲しむ姿を見た村人が、三人の女兒を酒で清め水葬にしたと言う。その逸話が日本に伝わり、平安時代に厄払いのため、紙で作った人形を川に流す「流し雛」が行われる様になった。その後、災厄の身代わりに、「ひな人形」を飾る様になったと言われている。ただその頃は立ち雛であった。



【京雛】

では座り雛になるのは、ずっと後の江戸時代初めのことである。それは後水尾天皇に嫁入りした徳川秀忠の娘(家康の孫娘)：和子に二男五女を授かったが、二人の皇子は早死し、女性が天皇を継ぐことになった。ところが、当時皇室では皇統の万世一系を守るため、女帝は結婚ができない規則であった。そこで、1629年女帝：明正天皇に即位した七才の興子(おきこ)内親王に、幸福を願って座り雛が贈られた。これが起源と言われている。その頃の男雛、女雛の位置は男左(向かって右)女右(向かって左)であった。これは中国の宮殿をモデルに建てられた御所の紫宸殿からきていると言う。紫宸殿は南に向き、太陽が昇る東側(向かって右)に天皇、西側に皇后がお座りになり、政を行っていたことから、日本は古来から左上位(向かって右が上位)であった。ところが明治の世になると、文明開化が叫ばれ、積極的に

西洋文化が導入され、右上位となった。大正天皇の即位式からは、西洋式に右上位、すなわち天皇は右(向かって左)、皇后は左(向かって右)に並ばれたことから、結婚式の新郎・新婦を始めひな人形の男雛・女雛も同じ男右(向かって左)になったのである。ところが、京都人は郷土愛が強いのか、プライドが高いのか、今でも男左(向かって右)女右(向かって左)に飾る「京雛」が売られている。次に、「左近の桜」「右近の橘」や「左大臣」「右大臣」は向かって左・右ではなく、人形側から見て左・右である。「左京区」「右京区」も、天皇が紫宸殿で南を向いて座り、「左京」「右京」としたのである。地図を見て左・右ではないのである。では五山送り火の左大文字は？これは帝の政ではなく庶民の行事なので、単に北に向いて左の「大」が、左大文字である。さらに、京都の標高は北高南低から、北から順に「上京」「中京」「下京」とし、北に行くのを「上ル」、南に行くのを「下ル」と言う。しかし他府県はそうではない。例えば新潟の「上越」「中越」「下越」の地名は、都であった京都に近い順に上・中・下としたのである。現役時代新潟駅で代理店の車に同乗した際、「上越へ行くのに、なぜ南に走るの？」と聞いたら、真面目に笑われた。そのほか旧国名に上野・下野、上総・下総があり、前中後(奥)を付けた旧国名に羽前・羽後、陸前・陸中・陸奥、越前・越中・越後、備前・備中・備後、豊前・豊後、筑前・筑後、肥前・肥後があるが、全て京都に近い方に上・前とした。北を上にするのは京都だけ。紫宸殿で天皇が南に向いて座り、「左京」「右京」「上京」「下京」としたことから始まったのでは。とにかく京都には「いわれ」が多く、他府県人には面倒臭い町と感じる人も多いとか。ところで、まだ御所に入ったことのない方、是非行かれては。新しい発見があるかも。(以上)



【紫宸殿
右近の桜・左近の橘】

◆「政治の中心地ワシントンは、観光客も多い」
2016年9月に、ワシントンとボストンに旅行に行ってきた。アメリカの政治の中心のワシントン、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学MITなど学生の街でもあるボストン。
伊丹空港発成田経由で、ワシントンに向かう。トランジットの成田で、昼食をとるのが、不便。おにぎり2個が、500円??びっくりポンや！マクドも高いです。まあ、いいか。ユナイテッド航空での12時間のフライトは、窮屈でしんどかった。ワシントン ダラス国際空港での入国審査は1時間待ちの列。指紋登録や顔写真登録がありました。



【ワシントン ホワイトハウス前】

ホテルへは、フライヤーバスと地下鉄を乗り継いで、ワシントン郊外の高層アパートを見ながら進んで行く。地下鉄の切符の買い方は、わかりづらいが、駅員さんが教えてくれた。でもわかりづらい。将来は、空港まで延伸されるようで工事中だった。地下鉄には、金銭を要求してくるホームレスの姿も。地下鉄の駅からホテルまで、スーツケースを引いて歩く。翌朝は、ホテルの朝食で、ワッフルを焼く。あとは、スクランブルエッグに、カリカリベーコンを頂く。朝食後、早速、ホワイトハウスまで歩く。土曜の朝なのに、見学者は多い。昼からは、地下鉄で、ペンタゴンショッピングモールに移動。買い物と、昼食を食べる予定が時差の影響で、食欲がなくアイスクリームだけ食べてホテルに戻る。途中高架になった車窓からはアーリントン墓地の様子が伺えた。翌日の9/11には15周年のスピーチをその場所でおこなっているのを現地のテレビニュースで放送していた。日曜日は、朝からサーキュレーターというバスに乗って、ユニオン駅、ジョージタウンなどで昼食をとる。翌月曜日には、ボストンまで、1時間半ぐらいの飛行機で移動する。明るい空港で

は、昼食などで時間待ちの乗客で賑やかな空間だった。

✧「古きアメリカと若者で溢れるボストン」

ボストンの夕食は、オイスター(かき)、シュリンプ(海老)、クラムチャウダー、ロブスター入りのパスタを楽しむ。オイスターは、小ぶりで、一つ3\$。地下鉄でチャールズ川を渡れば、ハーバード大学がある地域です。地球の歩き方を見ていると、アメリカ女性が、どこから来たのと気さくに話し話しかけてくる。バスの男性もそうだが、結構気さくだ。ハーバード大学は、学生によるキャンパスツアーが、開催されている。開学は、1630年代。建国よりもずっと前の事になる。創立者のジョン・ハーバードの像の足に触れるとラッキーだということで、足の部分がツルツルになっていました。こんな良い環境で勉強ができるなんてと羨ましい。建物内には入れないので、近くのセンターにトイレがあると、案内にあったが、工事中の為使用することが出来なかった。幸いにも、通りがかった職員の方の配慮で借りることが出来た。公共トイレがないので、事前に確認が必要です。市役所の方に向かい、クインシーマーケットで、クラッカーを入れてクラムチャウダーを昼食にする。近くには、昔の衣裳を着たガイドが案内をしていたり、路上でのサクソ演奏もあり興味深い。

昼からは、水陸両用バスに乗って観光、マサチューセッツ工科大の近くまで行ったり、高層ビルをチャールズ川から眺めたりして楽しんだ。その後、ボストン美術館でモネなどを鑑賞した。

ワシントン・ボストンの旅を十分楽しんでアメリカ人が、親切で思いやりがあると感心した一週間だった。機会がありましたら、良きワシントン・ボストンを旅行して見て下さい。

2016.9.15



【ハーバード大学創立者像】

OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページは総会、幹事会、キャリア活動、クラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

検索エンジンから「堀場OB」で検索し、「お気に入り」に追加ください。

◆ホームページアドレス

<http://horiba-ob.com>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com



－ OB会室移転 －

2017年1月から22号館1階に移転しました。

－ 新入会員紹介 －

新入会された会員を紹介します。（敬称略）

第21期

野田 容朗、分部 妙子（旧姓 浮村）、梶並 純一郎

－ 古希になられた方々（敬称略・会員番号順） －

青野 国子、永田 真寿夫、船越 健、山田 毅、須崎 琢而、青海 隆

－ 訃 報 －

一木 武俊様、濱田 芳彰様、村木 康雄様、がご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

－ 年間行事計画について －

年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク（年間5～6回の予定）
 - ・ 鴨川茶店（4月予定）
 - ・ 鴨川納涼（8月予定）
- 工房学習支援（年間：7～8回の予定）
- 研修旅行（2月予定）
- 春の懇親会（4月予定）

- 夏の懇親会（8月予定）
 - レジャー例会（4月、6月、11月の予定）
- 開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。
行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai727@yahoo.co.jp

TEL 090-5965-0389

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について －

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合に長文では取扱いに苦慮する場合があります。

このため、文字数の上限を下記の通り取決めさせていただきますので協力いただくよう宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

◆ホームページへの活動報告

800文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

会報、ホームページ共に文字だけでは読者に伝える力が弱く、写真によって情景を読者に印象付けるものであり、必ず写真を添付いただくようお願い致します。

活動報告は行事終了後、直ちに報告いただくようお願いいたします。

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。

テーマは特に決めていません。

＜旅行の感想＞、＜地域での活動＞、＜地域の名所・旧跡の紹介＞、＜地域の祭り＞など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。

投稿者にはささやかながら「図書カード」(1,000円分)を進呈させていただきます。

会報は毎年1月と7月に発行しますので12月末、6月末を目途に提出いただくようお願いいたします。

◆著作権について

- ・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。(発行元、書籍名、著者)
- ・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆送付先

会報事務局編集責任者 伊藤 哲
メールアドレス horiba.ob@gmail.com
〒601-8510京都市南区吉祥院宮の東町2
堀場製作所OB会 会報事務局宛

■OB会入会手続きの手順

- ①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。
- ②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付または郵送にてOB会幹事に提出する。
- ③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。
- ④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。
(手続き完了)

【OB会員の皆様へ】

皆様の周辺で、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。
堀場OBホームページトップページの「OB会入

会手続き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせ下さい。

代表幹事 酒井 俊英
副代表幹事 船越 健
幹事 森山 晶成
中村 十規人
小川 柁幸

東京支部幹事 谷口 義晴

会計幹事 伊藤 哲
会計監査 湯浅 一郎

下半期会社ニュースピックアップ



★堀場雅夫最高顧問に京都市市民栄誉賞表彰

10月15日、平成28年度 京都市自治記念式典がロームシアター京都で執り行われ、席上、堀場雅夫最高顧問に京都市市民栄誉賞が授与されました。当日は堀場 弾（ダン）さんが出席し、門川 大作京都市長より賞状と記念盾が授与されました。最高顧問が生涯にわたり若手経営者の育成と新産業の創出に情熱を注がれたご功績により、このたびのご受賞となりました。

★E-HARBORが、第29回日経ニューオフィス賞 近畿ニューオフィス推進賞を受賞

この賞は一般社団法人 ニューオフィス推進委員会と日本経済新聞社が主催するもので、感性を刺激し創造性を高める、知識資産や情報の運用管理が適切な、創意と工夫にあふれ快適で機能的なオフィスを表彰するものです。9月8日、大阪キャッスルホテルにて授賞式が執り行われました。HORIBA BIWAKO E-HARBORでは、「技術の遷宮」をめざし、創造的なオフィスを実現しました。“おもしろおかしく”働き、部署を超えた新たな価値を生み出すためのコミュニケーション活性化の工夫（スカイアトリウム、BJパーク、ワンフロアオフィス、生産現場の見える化など）や、シンプルながらも遊び心を取り入れたインテリアなどが評価されての受賞となりました。



★ホリバ・インド社 テクニカルセンター・オープニング

インドでは、自動車計測セグメントを中心に事業展開を進め、今回、テクニカルセンターを備える新拠点に拡張・移転、11月30日にオープニングセレモニーが開催されました。堀場社長をはじめ、駐インド日本国特命全権大使、マハラシュトラ州首相、インド全国から多数のお客様のご参加がありテクニカルセンターのお披露目がありました。テクニカルセンターを最大限活用し、インドでの事業拡大とともに、社会の発展に貢献が期待されます。



編集後記

2017年1月10日、2号館、3号館、8号館の解体式が開催され、OB会からも参加、永年お世話になった建物に数々の逸話とともに別れを告げました。新しい時代に向かっていくスタートとなりました。今号は、昨年秋の、BIWAKO E-HARBORでの総

会内容、12月の最高顧問墓参などの報告を掲載しています。是非、ご覧いただき、感想などをお寄せ下さい。季節がらお体ご自愛ください。投稿もお待ちしております。（編集者代表）

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://horiba-ob.com> *
